

第 58 回クラシックを楽しむ会

2018 年 9 月 16 日 (日) 18:00～ (2 時間 12 分、休憩除く)

タイトル：歌劇「トゥーランドット」(プッチーニ)

1987 年 4 月 4 日

会場等：メトロポリタン歌劇場

楽団等：メトロポリタン歌劇場管弦楽団、
同合唱団

指揮：ジェームズ・レヴァイン

演出：フランコ・ゼッフィレッリ

出演：エヴァ・マルトン (トゥーランドット)

プラシド・ドミンゴ (カラフ)

レオーナ・ミッチェル (リユー)

ポール・プリシュカ (ティムール)

ユグ・キュエノー (皇帝アルトゥム)

その他



豪華な衣装をまとったエヴァ・マルトン、MET1997 の写真

ものがたり

北京を舞台に、カラフ王子が、憎しみの心に包まれたトゥーランドット姫の三つの謎を解き、その氷のような心を溶かして「愛」を实らせる。

みどころ聴きどころ

ドミンゴの「泣くな、リユー」、「誰も寝てはならぬ」、エヴァ・マルトンの「この宮殿の中で」そしてレオーナ・ミッチェルの「氷のような姫君の心も」など。

本公演の演出と出演者メモ

ゼッフィレッリ演出のトゥーランドットは、ボエーム、トスカに続プッチーニ作品の第 3 作目であるが、いずれもメトが初演ではない。トゥーランドットの演出は本公演の 4 年前にスカラ座で初演されている。メトでの本公演はその後、現在も同じ舞台装置、衣装である。

エヴァ・マルトン(1943-)はハンガリー出身のソプラノ歌手。1983 年にトゥーランドット役をウィーン国立歌劇場 (ロリン・マゼール指揮) で歌って大成功を収めている。子供のころから歌手を夢見ていたが、フランツ・リスト・アカデミーでボイス・レッスンを受けている頃は、ハンガリーのバレーボール・ナショナルチームの選手として活躍していた。

ユグ・キュエノー(1902 -2010)はスイス出身のテノール歌手。本公演でメトにデビューしたとき 85 歳。108 歳で亡くなった。

第 59 回クラシックを楽しむ会(予告)

タイトル：歌劇「オルフェオとエウリディーチェ」(グルック)

10 月 21 日(日) 17 時 30 分開場、18 時上映開始

パリ・シャンゼリゼ劇場 2018 年 5 月の公演。オルフェオ役のジャルスキーとエウリディーチェ役のプティボンは今年 1 月のヘンデルの歌劇「アルティーナ」でお馴染み。

10 月以降、バイロイト音楽祭 2018 歌劇「ローエングリン」、マリンスキー劇場 II 2017 「くるみ割り人形」、ザルツブルグ音楽祭 2012 「ボエーム」などを予定。

あらすじ

【時と場所】

伝説の時代、中国の北京

【主要人物】

トゥーランドット (杜蘭朵)	
リュウ	若い女奴隷、ティムールの召使
カラフ	ダッタン国王子、ティムールの息子
ティムール	ダッタン国を追われた盲目の魔王
ピン (大蔵大臣)、パン (内大臣)、ポン (総料理長) 3大臣	
皇帝アルトゥーム	中国の皇帝、トゥーランドット姫の父

【第1幕】北京の城門の前

宮殿(紫禁城)の城壁前の広場。役人が群衆に「美しいトゥーランドット姫に求婚する男は、彼女の出題する3つの謎を解かなければならない。解けなければ斬首。謎解きに失敗したペルシア王子は月の出とともに処刑」と宣言、ペルシア王子が喝采する群衆の中を引き立てられてくる。

そこに戦に敗れて放浪中のカラフ王子が、盲目の父ティムールと、父を支える奴隷のリュウと再会する。カラフはペルシヤ王子処刑の場に現れたトゥーランドットを見て一目ぼれ、謎解きに挑戦を決意する。リュウはアリア「お聞き下さい、王子様」を歌って泣き崩れるが、カラフはアリア「泣くな、リュウ」と慰める。カラフは兆戦の合図でドラを3度叩く。

【第2幕】第1場 中国を象徴する模様のカーテンに仕切られた幕舎

ピン、パン、ポン3大臣による幕間狂言。「トゥーランドットが愛を知れば平和がよみがえる」と歌う。

【第2幕】第2場 宮殿の前の広場

トゥーランドットの父、皇帝アルトゥームがカラフに無謀な試みをやめるよう説得するがカラフは耳を貸さない。トゥーランドットが冷やかな表情で出てくる。

カラフの謎解きの場面。トゥーランドットは「先祖の美しいロウ・リン姫が、異国の男性に騙され、絶望のうちに死んだ。自分は彼女に成り代わって世の全ての男性に復讐を果たすため、求婚者に謎を出題して葬ってきた」とアリア「この宮殿の中で」を歌う。

第一の謎には「希望」、第二の謎には「血」、最後の謎にも「トゥーランドット!」と正答、人々はカラフを讃える。謎がことごとく打破されて「私は結婚などしたくない」と父アルトゥーム皇帝に泣きつくが、皇帝は「約束は約束」と娘を諭す。カラフはトゥーランドットに「それでは私も謎を出そう。明日の夜明けまでに私の名を知れば、私は潔く死のう」と提案。皇帝は「日の出とともにカラフは息子になる」と言い、人々は皇帝を讃える。

【第3幕】第1場 宮廷の庭

北京の街に「今夜は誰も寝てはならぬ。求婚者の名を解き明かさなければ皆死刑にする」の命令がでる。カラフは「夜明けには私は勝利するだろう」とアリア「誰も寝てはならぬ」を高らかに歌う。3人の大臣はカラフに名乗るよう迫るがカラフは拒否。そこに名前を知っていると思われるティムールとリュウが連行されてくる。トゥーランドットの間、リュウが命をかけて名前を明かさない理由をアリア「心に秘めた大きな愛です」と歌う。リュウは拷問を受け耐えられなくなってアリア「氷のような姫君の心も」を歌った後に自殺する。リュウの死を悼んで全員が去る。トゥーランドットとカラフだけが残され、カラフはトゥーランドットに口づけする。トゥーランドットの心が次第にやわらぎ、カラフの腕の中で涙を流してここを立ち去るよう頼むが、カラフは自分の名前を明かす。

【第3幕】第2場 王宮前の広場、翌朝

トゥーランドットは皇帝の前に進み出て「彼の名は”愛”」と宣言、カラフが駆け寄り二人は抱き合う。群衆は愛の勝利を高らかに賛美、皇帝万歳を歌い上げる。